

令和5年度事業報告

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

平成25年4月の「一般社団法人（非営利型）」移行後、当会においては組織の運営や事業活動に対して自主性・公益性・透明性が強く求められていることを十分に認識した上、事業計画に掲げた「基本原則」に則り、地域の発展と会員企業の恒久的・安定的かつ健全な繁栄に資するため、事業活動の効率化・組織体制の強化を図り「会員にとってより魅力ある法人会」を志向して事業の改善に努めてきた。

特に、令和5年度は、「コロナ禍以前」の事業活動に1日も早く戻すことを期して事業の実施に努めてきた。コロナ禍の3年間に、従来の事業を補完すべく実施したオンラインによる各種研修会の開催、税務・経営に関する冊子配付の増進、会報・ホームページでの情報提供の強化など、新たな取り組みも継続しつつ事業実施に努め、徐々にではあるが事業活動の復旧・再開の成果を得ることが出来た。

また、法人会本来の「税に関する事業」については、前橋税務署並びに税理士会をはじめとする税務協力団体との連携のもと、税務行政の円滑な運営に協力することを目的に、会員・役員企業に対するe-Tax・eLTAxの利用促進PR、キャッシュレス納付の周知活動を行うなど、様々な事業を積極的に展開した。

厳しい状況の中ではあったが、会員・役員の皆様、前橋税務署、行政県税事務所、前橋市、友誼団体ほか当会の事業と運営にご協力頂いた皆様には、特段の感謝を申し上げ、令和5年度の事業について以下の通りご報告致します。

I 公益事業

1. 税務支援事業

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」移行により、法人会の事業活動に対する制約もほぼ解除され、前橋税務署ほか関係団体との連携のもと、「決算説明会」・「新設法人説明会」・「特別研修会」など、一般の方をも対象とする各種税務研修会をほぼコロナ禍以前と同様に開催することが出来た。

特に10月から導入された「インボイス制度」への対応、「キャッシュレス納付」の利用推進、「添付書類も含めたe-Tax」の普及拡大については、税務当局と連携して、研修会の開催・冊子の配付・会報掲載による情報提供等により、周知・推進に努めた。

また、全法連が企業の税務コンプライアンス向上を目的として作成した「自主点検チェックシート」がリニューアルされ、インボイス制度や電子帳簿保存に関する項目などが追加された。

引き続き、前橋税務署受付への常備、各種研修会・会合等における配付・利用方法の解説などを行い、企業の税務リスク軽減に資するため広く利用を呼び掛けた。

2. 税の啓発・提言事業

①税制改正に関する提言活動

アンケート等により会員から寄せられた税に対する意見・要望を取りまとめ「令和6年度税制改正に関する提言」を作成。税制委員により、地方自治体・地元選出国会議員への要望活動を実施した。

②租税教室の開催

青年部会員が講師を務め、小学校6年生児童を対象とする「租税教室」を、市内の市立小学校15校20コマにて開催。785名が受講した。

5月1日	広瀬小学校	18名	講師：高浦 亮
5月12日	桃井小学校	72名	講師：小林浩志
5月16日	大胡東小学校	63名	講師：立見公一・田中順路
5月23日	粕川小学校	58名	講師：石橋修一・中嶋雅弘
6月1日	月田小学校	14名	講師：川井基義
6月7日	桃川小学校	54名	講師：小林祐介・都丸幸彦
6月19日	わかば小学校	38名	講師：加藤真一
7月5日	時沢小学校	80名	講師：高浦 亮
9月13日	二之宮小学校	46名	講師：荻野純一・小林良介
11月17日	岩神小学校	58名	講師：清水博志
12月13日	駒形小学校	57名	講師：平形敦史
12月18日	桃木小学校	52名	講師：伊佐陽介
12月19日	芳賀小学校	59名	講師：岡田賢一・槻岡将英
1月17日	石井小学校	21名	講師：入澤 克
2月1日	細井小学校	95名	講師：鈴木正人

③絵はがきコンクールの実施

女性部会が推進する「絵はがきコンクール」については、市立小学校全46校の6年生を対象に募集を行い、20校より902点の作品が応募された。

12月15日に審査会を開催して、最優秀賞の前橋税務署長賞ほか優秀作品62点を選考。

2月18日には初の試みとして入賞した児童・父兄を招き、「表彰式」を開催した。
(150名出席)

なお、前橋税務署長賞を受賞した松村ひよりさんの作品は、県連・局連でも第1席となり、全法連女連協会長賞を受賞した。

2月16日～3月15日に、優秀作品を確定申告会場の「前橋問屋センター会館」に公開展示を行ったほか、4月28日～5月19日には前橋市役所ロビーに展示を行った。

④税に関する高校生の作文への協賛

国税庁主催による「税に関する高校生の作文」に「前橋法人会会長賞（6編）」の提供を行い優秀作の表彰及び会報「法人まえばし」への掲載を行った。

3. 経営支援事業

6・11月に開催した「特別研修会」において、専門家を講師に経営全般に役立つ実践的な内容の研修を実施したほか、「セミナーオンデマンドサービス」やホームページによる情報発信など、経営支援情報の提供を目的に各種事業を実施した。

4. 地域社会貢献事業

◇講演会の開催

5月24日、前橋商工会議所会館において、経済アナリスト・日本金融経済研究所代表理事の馬淵磨理子氏を講師に「今必要な企業のリスク視点を経営に生かす手法とSDGsの取り組み」をテーマとする講演会を開催。150名が出席した。

II 共益事業

5. 会員支援事業

本会・女性部会・青年部会・地区地域部会を中心に、異業種交流・会員相互の親睦を目的とする各種研修会・協議会等を開催したほか、会員企業の従業員顕彰を目的とする「優良経理担当者表彰式」を通常総会時に実施した。

6. 会員維持・拡大事業

令和5年度の加入勧奨は、新規入会19社と低調な結果となった。

令和4年は全国大会の開催気運を高めるため、会員増強に軸足を置いて取り組み「純増106社（新規入会134社）」という全国2位という結果を残したが、令和5年度は事業活動の軸足を大会準備に置いたため、加入勧奨に十分な時間を割くことが出来ず、新規入会社数が20社を下回るという残念な結果に終わってしまった。

3月末会員数は2,429社（昨年同期比61社減）・加入率38.4%（同0.7%減）と、共にマイナスとなっている。

なお、厳しい状況ではあったが、2月27日には、初めての試みとして令和4・5年の新入会員を招き「新入会員歓迎会」を開催した。

新入会員30社が出席して、事業活動の紹介や、法人まえばしに連載の板垣先生と石渡先生によるミニ講演会、懇親会などを行った。新入会員と役員との交流が図られ、法人会活動の趣旨を理解する一助ともなり、有意義な事業となった。今後も継続して開催してゆきたい。

7. 厚生制度推進事業

会員企業の安定的な経営と経営者個人の保障を目的として、厚生委員会と受託会社が協働にて「法人会福利厚生制度」を推進した。

特に令和5年度は、「大型保障制度役員加入率70%の維持」と「法人会がん保険制度創設40周年キャンペーン」をメインに、役員・厚生制度受託会社が協働して推進に取り組んだ。その結果、両件とも目標を達成することが出来た。

また、会員企業の経営者・従業員の健康管理を目的に実施している「生活習慣病健診」は、受診者の利便性を考慮して本年度も2日間実施。2月3・4日の2日間で112名が受診した。

Ⅲ その他

8. 新公益法人制度に即した運営の実践

新法人への移行に伴い、指導監督基準に則した、総会・正副会長委員長会議・理事会・委員会等の会議を開催した。

また、9月11日と3月14日開催の理事会において、「代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告」が行われた。

9. 第39回法人会全国大会 群馬大会の開催について

10月18日、高崎芸術劇場において「第39回法人会全国大会 群馬大会」が群馬県法人会連合会主管にて全国から1,500名を超える会員が参加して開催された。

開催にあたり、当会の都丸正樹副会長が実行委員長を務めたほか、当会の多くの役員並びに会員が企画・運営に携わり、成功裡に開催出来たことをご報告致します。